

布製バックボード改良品投入

環境配慮製品に注力

発泡スチレンボードも好調 販路開拓を推進

広告関連資材卸のベルアドワイズ（本社名古屋市中区新栄2の42の28、小森弘道社長、電話052・238・1411）は、環境に配慮した自社製品を拡充する。これまでに投入した収納式の大型布製バックボード、発泡スチレンボードが好調なため、ことし1月に発売したバックボードは、想定を上回る引き合いがあり、新たに改良を加えた新タイプを投入した。

（東山麻衣子）

めるので継ぎ目がある。

く、別のデザインに取り替えられる。重量は幅2.28×高さ2.28メートルタイプが約10キロ。女性でも持ち運び、設置できる。

従来のバックボードは発泡スチレンボードが主流。このため大型タイプは持ち運びや設置が難しく、1度使用すると捨ててしまっケースも多かったという。

同社は今後の展開について「ウォーリーはエンドユーザー向けの製品。従来とは販路が異なるため、代理店を募集するなど販路開拓に努めたい」としている。

ベルアドワイズ

同社は広告・販促関連資材の販売やPOPの企画制作を手がける。なかでも環境配慮型製品の取り扱い、企画・開発に注力。エコマークを取得した発泡スチレンボード「エコ

ノラックW」は、今月上旬の「メッセナゴヤ2011」で、会場内案内パネルやブースのコマ番号パネルなど、に約500枚が使用された。好調な収納式の大型

ウォーリーは、スタンドとなるフレームを広げてコネクタでつなげるだけで、2メートル以上の大きさのスクリーンが広がって自立する。スクリーンはしわになりにくい厚手の防炎クロス生地。1枚布



側面を改良したバックボード「ウォーリー」の新タイプ

ウォーリーは、スタンドとなるフレームを広げてコネクタでつなげるだけで、2メートル以上の大きさのスクリーンが広がって自立する。スクリーンはしわになりにくい厚手の防炎クロス生地。1枚布